

外国人に向けた観光マップ

2年1組 清水 勇佑 2年1組 山口明日向 2年2組 西口凜太郎
指導者 中田 敬子

1 課題設定の理由

近年の訪日外国人観光客数の増加は著しく、今後、インバウンド需要の増大による経済効果が期待できる。しかし現状として、外国人が宇和島市周辺を検索している回数は同じ四国の松山市や高松市周辺と比べても少ない(図1)。宇和島城をはじめとする固有の歴史ある景観、鯛やみかんなどの特産品があるにも関わらず外国人が旅先として宇和島市を選ばないのは、その魅力が周知されていないためであり、観光客の目に触れる機会が多い「観光マップ」を改善する必要があると考えた。以上より、観光マップによって宇和島市の魅力をより多くの外国人に知ってもらいたいと考え、この課題を設定した。



図1 地域経済分析システム RESAS
(地図上の・が多いほど外国語で目的地としてよく検索されている駅やバス停。
2022 多言語乗換案内データより)

2 研究内容

課題解決に向けて、宇和島を訪れる外国人に向けた観光マップの作成がよい改善策だと考えた。その研究内容は以下の通りである。

(1) 既存の宇和島市の英語の観光マップから改善点を挙げる

- Ex) ・イラストが少ない
・ローマ字表記だけでなく、漢字やひらがな表記も欲しい
・文字の大きさや色にメリハリがない

(2) 取材や外国人との交流

↑・乗客 137 人 ・幅広い年齢層 ・35～45 歳が多い

市役所訪問(7月)やクルーズ船(ナショナルジオグラフィックレゾリューション)の見送りボランティア(9月)で得た知見

- Ex) ・食べ物が印象に残りやすい
・宇和島固有の伊達文化や宇和島城が魅力
・神社仏閣が人気

(3) 挙げた改善点をどうやってより良くするのかを考え実行する

- Ex) ・イラストが少ない
→QRコードを張り、ページに飛べるようにする。
・ローマ字表記も欲しい
→表面をローマ字表記(図2)裏面を日本語表記(図3)のマップにし、漢字を読めない

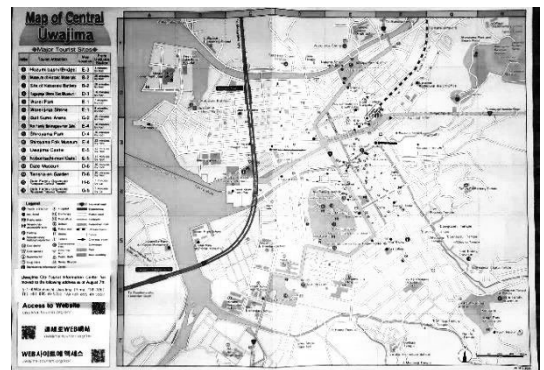


図2 観光マップ(英語)

い外国人が看板等と見比べることができるようにする。

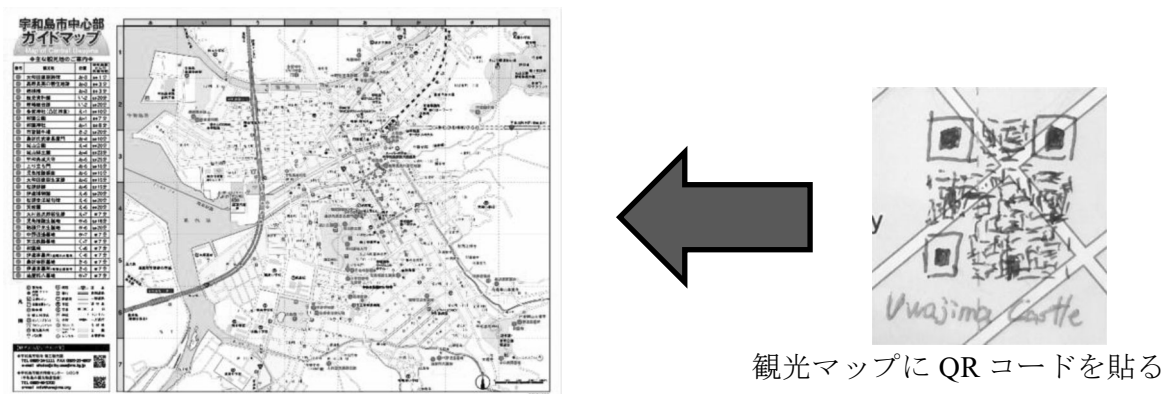


図3 観光マップ（日本語）

3 結果と考察

市役所訪問やクルーズ船の見送りで得た知見を基に考え、現状の宇和島市の観光マップにはイラストが少なかったり、実際に訪れた際に不便であったりするといった様々な課題を見つめられた。

上記の、市役所訪問の際にお聞きした外国人観光客の意見は実際の声であり、グローバル化に伴い、インバウンド需要が拡大する社会にとっては、一目見ただけで理解できる、分かりやすいというのは重要な要素となると考えられる。

課題設定の理由や研究内容で示したように宇和島市には宇和島城を始めとする独自の景観や魅力がある。実際にお会いした外国人観光客にも「食べ物がおいしい」や「素晴らしい街並み」といった言葉を残して満足そうに帰る人もいた。このような魅力を生かすためにはまずは外国人観光客が目に触れる観光マップから改善していく必要があり、宇和島市をより活性化させるために大切なことであると改めて感じた。

4 まとめと今後の課題

クルーズ船の見送りボランティアや市役所訪問、夏休みに観光スポットに実際に赴いた経験から、今の宇和島の観光マップに何が足りないのか、どうすればより分かりやすく多くの人に宇和島の魅力を伝えられるか考えた。本研究で得られた結果を生かし、より分かりやすい観光マップ作りに役立てたい。

5 謝辞

本研究を進めるにあたり取材に協力していただいた宇和島市役所商工観光課梶山様、山口様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

参考文献

- ・地域経済分析システム RESAS
<https://resas.go.jp/#/38/38201>
- ・宇和島市ホームページ
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/index2.html://resas.go.jp/#/38/38201>